

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870105693
法人名	医療法人 河原医院
事業所名	グループホーム ひめ椿
所在地	松山市今在家4丁目7-28
自己評価作成日	平成24年1月25日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成24年2月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・月二回、医師の往診あり ・関連施設の看護師(医師)との連携(24時間) ・急変時、病院受診(河原医院)対応 ・関連施設(老健)への連携 ・近隣の関連施設と合同で季節ごとのさまざまな行事を設けている。 ・広い敷地と明るい建物 ・裏庭には畑あり ・アットホームな雰囲気 ・個人の希望を少しでも叶えていけるよう、努力している。 ・一人ひとりの思いを傾聴するよう心掛けている。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

同じ地域の中に同法人の老人保健施設やグループホームがあり、行事や運営推進会議、ケアや医療等様々な場面で協力体制が構築されている。また、老人保健施設に常勤している医師により、利用者の健康管理が行われている。広い敷地に、庭や家庭菜園があり気軽に外気浴が楽しめる。また、建物内も広く、リビングや廊下等十分な広さが確保されている。地域の夏祭りに屋台を出店させてもらったり、秋祭りに神輿や獅子舞に来てもらっており、行事を通じて地域との交流を行っている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目
(評価項目の構成)

Ⅰ.理念に基づく運営

Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

Ⅲ.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

Ⅳ.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

● 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

● 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

● 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

● 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

● 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

● チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホーム ひめ椿

(ユニット名) さくら

記入者(管理者)

氏 名 菅 典子

評価完了日 H24年 1月 25日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 地域密着を踏まえた理念を作成し、各ユニットの事務所に掲げ、全職員が実践に繋げていけるよう努めている。 (外部評価) 分かりやすく具体的な理念を掲げ、利用者の生活やケアの質の向上に取り組んでいる。さらに「今日からみんなの合言葉」を作成し、職員のあるべき姿を分かりやすく示し資質の向上に努めている。	現在の理念を作成してから5年が経過しており、理念が現状に即しているか職員全員で振り返りをしたり、職員の理解度の確認を行うよう望みたい。また、振り返りで確認した理念にもとづいて質の高いチームケアがより一層実践できるよう今後の取組みに期待したい。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 地域の行事に誘って参加させて頂いたり、ご近所の方々に会えば挨拶をしたりと地域の一員として受け入れて頂けるように努めている。 (外部評価) 地域の夏祭りに屋台を出店させてもらったり、秋祭りに神輿や獅子舞に来てもらっており、行事を通じて地域との交流を行っている。また、地域のゴミステーションを利用させてもらっており、当番で掃除を行っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 二か月に1回運営推進会議や地域の行事で地域の方々に触れ合うことで理解して頂く様努めている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議は二か月に一回開催しており、ホームの現 状や取り組み等の報告をして地域の方々の意見を交え ながら他職員に周知し、サービスの向上に努めている。	
			(外部評価) 地域内にある同法人のグループホームと合同で、運営 推進会議を行っている。利用者や家族、地域の民生委 員や町内会長、市や地域包括支援センターの職員等に 参加してもらい、活発な意見交換や情報交換、研修会 を実施する等、有意義な会議となっている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる	(自己評価) 市の担当者とは運営推進会議やグループホームの連絡会 等に参加して貰い、協力をお願いしている。	
			(外部評価) 運営推進会議に参加してもらった時や電話等で意見や 情報の交換、アドバイスをしてもらおう等良好な関係が 構築されている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束をしない様に取り組んでいるが、徘徊の方が 数名居られる為、やむなく門や玄関を施錠してい る。	
			(外部評価) 利用者の安全を確保するために時間を決めて玄関の施 錠をすることはあるが、常に見守りを行いながら外出 の希望に応じる等、適切に対応するよう心がけてい る。また、言葉で行動を制限しないよう職員同志で注 意し合っている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 施設の勉強会で学び、また職員同士普段から声を掛け合いながら虐待防止に努めている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 該当者がいない為学ぶ機会は持っていないが、勉強会の議題に取り入れて貰う様、希望している。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居前や入居時に文書を下に口頭で詳細を伝え、本人、ご家族の疑問や不安を伺い、お話して理解や納得をして頂けるようにしている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 玄関に意見箱を設置したり、面会時等に家族の方とお話しし、要望等を伺っている。利用者の方は、日々の会話の中から要望を伺い、できる限り反映するよう努めている。 (外部評価) 面会時等に家族とコミュニケーションを取るように心がけ、常に意見を聞き取るようにしている。出された意見については、職員に周知したり、話し合いを行い運営に反映するよう努めている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月ユニット会を行い、全職員の意見や提案を聞いて、日々の業務に反映させている。 (外部評価) 管理者は、職員から意見が出やすいよう雰囲気づくりに心がけ、職員からの意見を聞き取るよう努めている。また、職員は職員会やユニット会で意見を出すこともでき、必要に応じて管理者は同法人のグループホームと合同の主任会で代表者に伝えている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 職員一人ひとりのことを把握して、各自が向上心を持って働ける様、職場環境や条件の整備に努めている。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 施設内の勉強会を行ったり、外部の研修は掲示板に掲げて参加を促すが、実際、業務中に外部の研修の参加は難しいのが現状である。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 同系列の施設職員や看護師との交流で、アドバイスや指示を貰う等し、よりよいサービスが提供できる様、努めている。	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 入居時には安心して頂ける様傍に寄り添い、積極的に声掛けを行って、不安の軽減に努めている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等 が困っていること、不安なこと、要望等に 耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 入居時にはご家族の要望や不安点等を伺い、話を して納得をして頂く様伝えている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と 家族等が「その時」まず必要としている支 援を見極め、他のサービス利用も含めた対 応に努めている	(自己評価) 入居時に本人やご家族との会話で、必要として いる事を確認し、対応できるよう努めている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場にお かず、暮らしを共にする者同士の関係を築 いている	(自己評価) 全てを手伝うのではなく、可能な限り本人で できる事をして頂ける様、声掛け支援して いる。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場にお かず、本人と家族の絆を大切にしながら、 共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会時にはご本人の生活状況や要望をお話 している。どうしたらいいかというご家族 の相談を伺い、お答えして一緒に本人を支 えられるよう支援している。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの 人や場所との関係が途切れないよう、支援 に努めている	(自己評価) 入所して生活の場を変えることによって馴染 みの方との関係が途切れない様にするのは難 しいが、本人が望めばご家族にその旨をお 話する等、支援している。	
			(外部評価) 利用者が今まで大切にしてきた人や場所と の関係が途切れないよう努めている。また、 事業所での新しい馴染みとして定期的に来 所する美容師や、行事に参加する地域の方 との関係づくりを積極的に取り組んでいる。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 入居者同士の関係を職員は把握しており、一人ひとりが孤立することが無いように支援している。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退所後も移動先の場所に様子を伺いに行ったり、ご家族のお話を伺ったりと、相談や支援に努めている。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 一人ひとりの思いや希望を把握する様努め、難しい場合はご家族に伺う等、できる限り本人本位に検討するようにしている。。	
			(外部評価) 男性利用者と男性職員の男同志の会話で思いを聞き取る等、職員が様々な工夫をしながら、希望や意向を把握するよう努めている。また、家族からも入居前の生活歴や様子を聞き取り、利用者本位になるように職員全員で検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) ご家族や入居前の担当者にフェースシートやお話を伺い、これまでの暮らしの把握に努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 職員全員が個々の過ごし方を理解しており、また申し送りや記録を見てしっかり現状把握ができる様に努めている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) 本人、または面会時にご家族に伺って、それをユニット会等で職員間で話し合い、現状に即した介護計画を作成している。 (外部評価) 利用者や家族の意見を取り入れながら、ユニット会で検討し介護計画を作成している。介護計画の目標に番号を付ける等、介護計画を意識した日々の記録ができるよう工夫されている。ユニット会では日々の記録をもとに定期的に評価を行い、次の介護計画を立案している。	目標によっては評価基準を設定し、数値で記録ができるよう工夫することを期待したい。また、その記録をもとに、具体的な分析や数値的な根拠のある評価を行い、次の介護計画の作成に役立てるよう望みたい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個人記録にその日、その時の出来事を出来るだけ詳細に記入し、ユニット会で職員全員で検討し合いながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にもまれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 本人やご家族の状況に合わせて可能な限り柔軟な対応ができる様に努めているが、要望によっては難しい場合もある。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりに添った地域資源の提供はできていないが、可能な限り本人の要望に沿える様にご家族の協力を仰いでいる。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) ご家族や本人の要望にそった主治医に診て頂いてい る。また、月2回、当ホームの医師が往診をしている ので、その時の体調によってすぐに対応できている。	
			(外部評価) 入居時に医療機関やかかりつけ医の希望を聞き、受診 できるよう支援を行っている。月2回の協力医療機関 からの往診や、同法人の老人保健施設の看護師と連携 する等、協力体制が構築されている。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 同系列の施設の看護師と連携を取り、急変時には24時 間連絡して医師の指示を仰ぐ等、適切な受診や看護を 受けれるように支援している。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 入院時には入院先の相談員と連携を取って、治療状 況を聞いたりご家族と一緒に医師の話を聞いたりと情報 交換するようにしている。安心して治療出来る様、入 院や退院に向けての関係づくりを行っている。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 重度化した場合の説明は入居時に行う様になっている。 ホームでの生活が難しくなってきた場合、関連施設や 病院への連携を説明し、納得して頂いている。	
			(外部評価) 家族に日常の様子を適時伝え、状況に応じて話し合い を行う等、事業所の方針や家族の意向を確認し合っ ている。利用者の状態に応じて家族や医師、看護師、職 員等と話し合いを行い、医療機関や老人保健施設等の 利用を支援している。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 施設の勉強会や常置しているマニュアルで知識を身に付けているが、訓練等は行えていない為、実際起きた時の実践力については不安がある。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 地域の方には災害時の協力をお願いしたり、年2回の消防訓練を実施し、消防隊員から指導を受けたりと、全職員が対応できるように努めている。 (外部評価) 年2回、昼夜を想定した避難訓練を消防署の協力を得て実施している。また、運営推進会議の中で消防士を講師に迎え、地震時における避難と対策についての講義をしてもらう等、災害に対する意識の向上に努めている。	災害時には地域の協力は必要不可欠であり、連携ができる関係づくりを進めると共に、事業所として地域に協力できることを検討し、運営推進会議を利用し表明する等の取組みに期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 入居者一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねない様な声掛けや対応を職員全員が心掛けている。 (外部評価) 管理者や職員は、利用者一人ひとりの状態を理解し、個性を尊重しながら日々のケアを行っている。職員同志で気になることがあれば注意し合い、適切な声かけや対応ができるよう取り組んでいる。個人情報等の書類については適切に管理されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 集団生活の中で、入居者一人ひとりの思いや希望を可能な限り受け止めたり、自己決定をして頂けるように働きかけている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 状況によってやむを得ず職員のペースになってしまうことがあるが、その時は必ず了承を得ている。できる限り一人ひとりのペースにそった生活をして頂ける様、支援している。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 本人が出来る方は思う様にして頂き、難しい方には職員がお手伝いしている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) ふりかけや味噌等、個々が食事を楽しめるよう好みの物を食べて貰っている。また、食事の下拵えのお手伝いを快くして頂いている。 (外部評価) もやしの根切りや簡単な下ごしらえ等、利用者のできることを無理なく手伝ってもらっている。職員は支援の必要な利用者の隣にさりげなく座り、和やかに会話をしながら楽しい食事となるよう努めている。献立は法人の栄養士が立てており、栄養のバランスも考慮されている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養士が日々の献立を立てている。固いものが食べれない人は柔らかいものに代替している。嚥下が困難な人は、お粥やキザミ食にしたり、水分はトロミを付けたりと、個々に合わせた食事を提供している。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後、口腔ケアを実施している。自分でできる方は声掛けや準備をし、難しい方には介助をして、口腔内の清潔に努めている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 一人ひとりの排泄のパターンを掴み、日中はほぼ全員が時間毎の誘導にてトイレで排泄できている。 (外部評価) 支援や見守りが必要な利用者が多く、適切な排泄介助を行うために、一人ひとりの排泄のパターンを把握している。職員は見守りや声かけをさりげなく行いながら、排泄の自立に向けた取組みがされている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 水分や繊維を多く摂って頂いたり、体操や散歩で体を動かして頂いたり、また個々によって緩下剤の調整をして便秘予防に努めている。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 入浴の曜日や時間は決めているが、その日との時の体調や状態によって臨機応変に対応するようにしている。 (外部評価) 週3回の入浴を基本としており、利用者の体調を考慮しながら入浴支援が行われている。入浴の苦手な利用者には、声かけのタイミング等を工夫し気持ちよく入浴してもらえるよう配慮している。また、機械浴の設備も整えられており、状態に応じて安全、安楽に入浴ができる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりの生活習慣に合わせた過ごし方をして頂く様努めているが、その時の体調の状態ですぐに寝たり柔軟な対応をしている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 処方箋を見て、誰がどんな薬を服用しているか把握し、服薬によっての症状の変化にすぐに気づき、医師に報告出来る様努めている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 一人ひとりが楽しめる事、可能な事、難しいことを把握しており、個々に合わせた支援をしている。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 一人ひとりの希望に添った外出支援はできていない。希望を伺って、後日の外出行事に活かしたり、家族に連絡して協力をお願いしている。	
			(外部評価) 事業所の敷地は広く、裏庭には家庭菜園があり気軽に外気浴や気分転換ができる。利用者の体調や状態、気候等を考慮しながら、同法人の老人保健施設の車両を借り、季節の花を見に行く等の外出支援も行われている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 管理ができる方は少額持参されているが、難しい方は小口預かり金として職員が預かっている。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 本人が「電話したい」と希望されたら職員が電話をかけて、お話を頂いている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節を感じて頂ける様、壁面に工夫をしたり、リビングにはソファや雑誌を置いたり、入居者の方々が居心地良く過ごして頂ける様、努めている。	
			(外部評価) 共用空間は十分な広さが確保され、ソファやいすが各所に配置され、思い思いの所で自由に過ごすことができる。テラスなども広く段差はないため、洗濯物を干したり、外気浴も気軽に行える。気になる臭いや不快な音等もなく、快適な環境が整えられている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 気の合う入居者同士、ソファと一緒に座って頂いたり、一人で居たい方は雑誌を眺めて頂いたり、思い思いに過ごして頂いている。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 本人やご家族の希望で、居室は好みの物や馴染みの物を自由に置いて頂き、本人が居心地良く過ごせるようにしている。	
			(外部評価) 備え付けのベッドとタンスがあるが、利用者の使い慣れたタンスや鏡台、仏壇などが持ち込まれている。また、家族の写真や好みの飾りや置物が置かれる等、利用者が落ち着いて生活ができるように居室づくりがされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) あらゆる場所に手すりを設置して、コールも理解できる人には押して頂き、常時見守りや介助を行って、事故なく安全に過ごして頂ける様、努めている。	

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870105693
法人名	医療法人 河原医院
事業所名	グループホーム ひめ椿
所在地	松山市今在家4丁目7-28
自己評価作成日	平成24年1月25日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成24年2月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・月二回、医師の往診あり ・関連施設の看護師(医師)との連携(24時間) ・急変時、病院受診(河原医院)対応 ・関連施設(老健)への連携 ・近隣の関連施設と合同で季節ごとのさまざまな行事を設けている。 ・広い敷地と明るい建物 ・裏庭には畑あり ・アットホームな雰囲気 ・個人の希望を少しでも叶えていけるよう、努力している。 ・一人ひとりの思いを傾聴するよう心掛けている。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

同じ地域の中に同法人の老人保健施設やグループホームがあり、行事や運営推進会議、ケアや医療等様々な場面で協力体制が構築されている。また、老人保健施設に常勤している医師により、利用者の健康管理が行われている。広い敷地に、庭や家庭菜園があり気軽に外気浴が楽しめる。また、建物内も広く、リビングや廊下等十分な広さが確保されている。地域の夏祭りに屋台を出店させてもらったり、秋祭りに神輿や獅子舞に来てもらっており、行事を通じて地域との交流を行っている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目
(評価項目の構成)

Ⅰ.理念に基づく運営

Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

Ⅲ.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

Ⅳ.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

● 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

● 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

● 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

● 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

● 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

● チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホーム ひめ椿

(ユニット名) もみじ

記入者(管理者)

氏 名 上見 曜子

評価完了日 H24年 1月 25日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 理念に地域との交流を図り、人と人との触れ合いを大切にするという事を掲げており、職員同士で共有できるよう事務所内に掲示して実践に繋げている。 (外部評価) 分かりやすく具体的な理念を掲げ、利用者の生活やケアの質の向上に取り組んでいる。さらに「今日からみんなの合言葉」を作成し、職員のあるべき姿を分かりやすく示し資質の向上に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 挨拶は勿論の事、運営推進会議に出席して頂いたり、夏祭り、秋祭りにも参加させて頂いており、交流に努めている。 (外部評価) 地域の夏祭りに屋台を出店させてもらったり、秋祭りに神輿や獅子舞に来てもらっており、行事を通じて地域との交流を行っている。また、地域のゴミステーションを利用させてもらっており、当番で掃除を行っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 行事、運営推進会議を通し、理解して頂いている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている	(自己評価) グループホームでの利用者の様子や行事報告を行って おり、地域の方からも危険な場所の情報、地域行事の 情報等をお聞きし、サービスの向上に活かせるように 努めている。	
			(外部評価) 地域内にある同法人のグループホームと合同で、運営 推進会議を行っている。利用者や家族、地域の民生委 員や町内会長、市や地域包括支援センターの職員等に 参加してもらい、活発な意見交換や情報交換、研修会 を実施する等、有意義な会議となっている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議へ出席して頂き、協力関係を築ける様努 めている。	
			(外部評価) 運営推進会議に参加してもらった時や電話等で意見や 情報の交換、アドバイスをしてもらう等良好な関係が 構築されている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束について勉強会等で学び拘束しない介護を目 指し実践している。玄関の施錠については職員が把握 できないところでお一人で外へ出られている事があり、 危険も伴う為利用者の方の状態によって対応の仕 方を変えさせて頂いている。	
			(外部評価) 利用者の安全を確保するために時間を決めて玄関の施 錠をすることはあるが、常に見守りを行いながら外出 の希望に応じる等、適切に対応するよう心がけてい る。また、言葉で行動を制限しないよう職員同志で注 意し合っている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 勉強会や個々で新聞、本等で学び、虐待が見過ごされる事がないよう、全職員が意識し注意している。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 実際に話し合いの場を設けたり活用したことがない為、いざ該当する方が入所された時に活用できるよう、今後知識を深めていきたい。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入所時や退所時には利用者やご家族の思いを尋ね、お話をさせて頂き、理解や納得をして頂く様努めている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 玄関に意見箱を設置したり、面会時等に家族の方とお話しし、要望等を伺っている。利用者の方は、日々の会話の中から要望を伺い、できる限り反映するよう努めている。 (外部評価) 面会時等に家族とコミュニケーションを取るよう心がけ、常に意見を聞き取るようにしている。出された意見については、職員に周知したり、話し合いを行い運営に反映するよう努めている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月ユニット会を行い、全職員の意見や提案を聞いて、日々の業務に反映させている。 (外部評価) 管理者は、職員から意見が出やすいよう雰囲気づくりに心がけ、職員からの意見を聞き取るよう努めている。また、職員は職員会やユニット会で意見を出すこともでき、必要に応じて管理者は同法人のグループホームと合同の主任会で代表者に伝えている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 職員一人ひとりのことを把握して、各自が向上心を持って働ける様、職場環境や条件の整備に努めている。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 施設内の勉強会を行ったり、外部の研修は掲示板に掲げて参加を促すが、実際、業務中に外部の研修の参加は難しいのが現状である。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 同系列の施設職員や看護師との交流で、アドバイスや指示を貰う等し、よりよいサービスが提供できる様、努めている。	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 利用者の方と向き合い、思いを把握し、気持ちを受け止めることで安心を確保し、より良い関係が築ける様努めている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等 が困っていること、不安なこと、要望等に 耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 家族の方の希望、思い等を伺いながら、関係づくりに 努め不安が少しでも軽減し、安心して頂ける様努めて いる	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と 家族等が「その時」まず必要としている支 援を見極め、他のサービス利用も含めた対 応に努めている	(自己評価) 本人、または家族の要望をもとに「その時」まず必要 としている支援が何であるかを考え、必要に応じて他 のサービスを提供してみるなどの対応に努めている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場にお かず、暮らしを共にする者同士の関係を築 いている	(自己評価) 利用者の方から教えて頂くことも多く、利用者の方を 尊重し、自分の家族ならこうしたい、こう言いたい 等、考えながら接している。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場にお かず、本人と家族の絆を大切にしながら、 共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会時には家族で過ごして頂ける時間を設け、日常の 様子をお伝えする等し、絆を大切にしながら信頼関係 づくりに努めている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人 や場所との関係が途切れないよう、支援に 努めている	(自己評価) すべての利用者の方の家族以外の馴染の方が把握でき ておらず、支援が出来ているとは言えないが、電話等 の支援は行えている。しかし、この支援は家族の方の 協力が得られなければ難しいと感じている。 (外部評価) 利用者が今まで大切にしてきた人や場所との関係が途 切れないよう努めている。また、事業所での新しい馴染 みとして定期的に来所する美容師や、行事に参加す る地域の方との関係づくりを積極的に取り組んでいる。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 孤立することが無いよう、職員が間へ入り会話をしたり、集団でレクリエーションを行う等し、利用者同士が関わり合える様個々に合わせた関係作りの支援を行っている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) できていない。退所された方への相談、支援について、現状では難しいと思う。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日常の中でご本人と向き合える時間を設ける様に努め、職員同士での情報交換や本人の視点に立って意見を出し合う等、思いや希望を把握する様に努めている。	
			(外部評価) 男性利用者と男性職員の男同志の会話で思いを聞き取る等、職員が様々な工夫をしながら、希望や意向を把握するよう努めている。また、家族からも入居前の生活歴や様子を聞き取り、利用者本位になるように職員全員で検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) フェースシートを見たり、家族またはご本人からお話を聞く等して、一人一人の生活歴や生活環境の把握に努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 一人ひとりとの関わりの中で思わぬ場面での有する力を発見できる場合があるので、常に見落としの無い様努力し、記録の確認に努めている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) 面会時に家族の方の意見を伺い、介護計画書の見直しは3か月に1回行っている。また、月に一回職員会議を設けている為、その時にも話し合い、必要時にはプラン追加等している。 (外部評価) 利用者や家族の意見を取り入れながら、ユニット会で検討し介護計画を作成している。介護計画の目標に番号を付ける等、介護計画を意識した日々の記録ができるよう工夫されている。ユニット会では日々の記録をもとに定期的に評価を行い、次の介護計画を立案している。	目標によっては評価基準を設定し、数値で記録ができるよう工夫することを期待したい。また、その記録をもとに、具体的な分析や数値的な根拠のある評価を行い、次の介護計画の作成に役立てるよう望みたい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 一人ひとりの言われた言葉やその時の様子などありのままを記録し、問題や改善点あればその都度職員で話し合い、介護計画の見直しに活かしている。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 既存のサービスではニーズに対応できないと判断した際には、家族・相談員に相談した上で柔軟な支援が行える様、努めている。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 消防訓練時に消防署員に来て頂いたり、ボランティアの方に来て頂く等し、安全で楽しく生活できるよう支援している。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 本人及び家族が希望した主治医に診て頂けるようにし ている。また、月に2回Dr.の往診があり、相談したり 急変時には受診し、適切な医療が受けられるよう支援 している。	
			(外部評価) 入居時に医療機関やかかりつけ医の希望を聞き、受診 できるよう支援を行っている。月2回の協力医療機関 からの往診や、同法人の老人保健施設の看護師と連携 する等、協力体制が構築されている。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 往診時に報告し、特変時にはすぐに看護師へ報告し、 適切な受診や看護が受けられるよう連携を大切にしてい る。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 情報を提供し、安心して治療して頂き、できるだけ早 期に退院できるよう努めている。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 家族の方とは入所時にお話し、事業所内でできる事を 説明しているが、ご本人とはそっくりと話し合いがで きていない。	
			(外部評価) 家族に日常の様子を適時伝え、状況に応じて話し合い を行う等、事業所の方針や家族の意向を確認し合っ ている。利用者の状態に応じて家族や医師、看護師、職 員等と話し合いを行い、医療機関や老人保健施設等の 利用を支援している。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 応急処置の勉強会に参加したり、急変や事故発生時に備え対応の仕方のマニュアルを読む等し、適切な対応ができる様努めている。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年に2回、消防訓練を行っており、避難の方法等を学んでいる。地域との協力体制については運営推進会議を通し、協力をお願いをしている。 (外部評価) 年2回、昼夜を想定した避難訓練を消防署の協力を得て実施している。また、運営推進会議の中で消防士を講師に迎え、地震時における避難と対策についての講義をしてもらう等、災害に対する意識の向上に努めている。	災害時には地域の協力は必要不可欠であり、連携ができる関係づくりを進めると共に、事業所として地域に協力できることを検討し、運営推進会議を利用し表明する等の取組みに期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 言葉かけや対応でその人を傷つけてしまったり、プライバシーを損ねてしまう為、一人ひとりの人格を尊重し、個々に応じた対応を行う様努めている。 (外部評価) 管理者や職員は、利用者一人ひとりの状態を理解し、個性を尊重しながら日々のケアを行っている。職員同志で気になることがあれば注意し合い、適切な声かけや対応ができるよう取り組んでいる。個人情報等の書類については適切に管理されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 表出の仕方や表現の方法は人それぞれの為、一人ひとりが自分の思いを表しやすい様、言葉かけや雰囲気づくりに努めている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 大切にしたいと思っているが、時間に追われてしまい、職員の都合を優先しがちになってしまう為、もう少し時間にも気持ち的にも余裕を持って接していきたい。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) ホーム内で希望に応じて散髪を行ったり、可能な方についてはご自分で服を選んで頂く等している。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 普段の食事作りは職員が行っており、利用者の方にして頂いているのは食材の簡単な下準備であるが、行事の中に昼食づくり、おやつ作りを計画しており、その際には切り込み等をして頂いている。 (外部評価) もやしの根切りや簡単な下ごしらえ等、利用者のできることを無理なく手伝ってもらっている。職員は支援の必要な利用者の隣にさりげなく座り、和やかに会話をしながら楽しい食事となるよう努めている。献立は法人の栄養士が立てており、栄養のバランスも考慮されている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量、水分量は記録し把握している。熱発や便秘の方には水分を多く摂取して頂く等、状態に応じ対応している。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後、口腔内の衛生が保持できる様声掛けを行い、必要に応じて介助を行っている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 一人ひとりの排泄パターンを把握し、できる限りトイレにて排泄出来る様、自立に向けた支援を行えるように努めている。	
			(外部評価) 支援や見守りが必要な利用者が多く、適切な排泄介助を行うために、一人ひとりの排泄のパターンを把握している。職員は見守りや声かけをさりげなく行いながら、排泄の自立に向けた取組みがされている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 水分を多く摂取して頂いたり、歩行運動あるいは腹部マッサージ等、個々に応じた対応を行っている。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 入浴拒否をされる方には、時間をずらす等工夫した声掛けを行っているが、曜日・時間帯を決め行っているのが現状である。	
			(外部評価) 週3回の入浴を基本としており、利用者の体調を考慮しながら入浴支援が行われている。入浴の苦手な利用者には、声かけのタイミング等を工夫し気持ちよく入浴してもらえるよう配慮している。また、機械浴の設備も整えられており、状態に応じて安全、安楽に入浴ができる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 居室内の温度調節を行い、気持ちよく眠れるよう支援しており、不眠・浅眠の方には日中休息を取って頂く為の声掛けを行っている。また、不眠の方についてはDr. と相談しながら必要に応じ眠剤を服用し頂き、安眠の支援を行っている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の内容については、処方箋の内容を見て理解に努めている。誤薬がない様気を付け、症状の変化には見落としがない様気を付けている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 一人ひとりの楽しみごと、気分転換は何かを考え、レクリエーションや散歩等を行い、行事にも取り入れる等し、支援を行っている。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) その日によって散歩程度であれば行える日もあるが、行えていない日もある。できる限り本人の希望を把握し、外出行事に意見を取り入れたり家族に協力をお願いする等の支援を行っている。	
			(外部評価) 事業所の敷地は広く、裏庭には家庭菜園があり気軽に外気浴や気分転換ができる。利用者の体調や状態、気候等を考慮しながら、同法人の老人保健施設の車両を借り、季節の花を見に行く等の外出支援も行われている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 希望に応じて一部の人のみ所持されており、散歩時等にご自分で使える様支援している。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) ご本人の希望に応じて電話をかけて頂ける様に支援している。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節に応じて居心地のいい室温を保っており、衛生保持ができる様、毎日掃除を行っている。また、テーブルに花を生けたり、壁面に飾りつけを行い季節感を味わえるように努めている。	
			(外部評価) 共用空間は十分な広さが確保され、ソファやいすが各所に配置され、思い思いの所で自由に過ごすことができる。テラスなども広く段差はないため、洗濯物を干したり、外気浴も気軽に行える。気になる臭いや不快な音等もなく、快適な環境が整えられている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 廊下、リビングの数か所にテーブル・椅子・ソファを置き、思い思いに過ごせるような居場所づくりを行っている。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 家具の配置も本人、家族と相談しながら決めており、本人の使い慣れた物や思い出の物(写真)等を飾ったりして、安心して心地よく過ごして頂ける様努めている。	
			(外部評価) 備え付けのベッドとタンスがあるが、利用者の使い慣れたタンスや鏡台、仏壇などが持ち込まれている。また、家族の写真や好みの飾りや置物が置かれる等、利用者が落ち着いて生活ができるように居室づくりがされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 居室に自分の居室だと分かって頂ける様、ネームプレートを設置しており、トイレの扉にもマークを貼ったりとできるだけ自立した生活が送れる様、工夫を行っている。	